

作成日：令和7年12月25日

実施日時	内容・まとめ等
区定例会 1回開催 9月9日	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月9日14:00～16:00に開催予定 ・第1回(9/9) <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の体制・目的説明 ・R7, 4～8の活動報告 ・交流会・意見交換 <p>テーマ「障害をおもちの方や家族 が地域で暮らしやすくなるために ～地域生活をどのように 支えられるか～」</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組期間の変更により、令和7年は1回の開催となつたため、当初予定していた第2回目の時期を再検討した。 ・第1回目は幅広い分野から多数の参加者があった（39名）。移行期の話題が出る等意見交換も活発で地域の関係機関の連携が強化された。また、取り上げている地域課題に関連するテーマで議論できた点も良かった。加えて、当事者参加があり、多様な視点での議論ができた。 ・取組内容の広報（ホームページ等）が不十分であった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年には年間2回開催できるようスケジュール調整を行う。 ・交流する時間（名刺交換等）を十分に確保するほか参加機関が双方向に発信できる場にする等、連携をさらに強化していく。また、ライフステージの変化や分野をまたぐ等の移行期の連携については共通した課題として認識されたため、更に議論を深めることが期待できる。 ・広く情報発信ができるよう広報の取組について検討していく。
区企画運営会議 7回開催 4月8日 5月13日 6月10日 8月12日 9月9日 11月11日 12月9日	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日14:00～15:30で実施（事業所連絡会の実施月は休会とする） ・事業所連絡会の企画案を共有、意見交換 ・定例会の企画検討を実施 ・地域で暮らす障害者を区民に少しでも知ってもらうワーキングの進捗の管理 ・地域課題抽出の進め方検討、課題抽出スクリーニング表への落とし込み実施 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールの変更があったが、大きな混乱なくスケジュールを修正し、取組を実施できた。また、担当制にすることで役割が明確になり活動しやすくなつた一方、全体の情報を集約し調整する必要も感じた。 ・R6年度の地域課題（グループホーム）について、改めて市企画運営会議で報告を行い、市全体で共有することができた。 ・スクリーニングにかける時間が少なかったため、地域課題の検討が十分にできなかつた。

		<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画運営会議の事前打ち合わせには各担当の代表が出席し、これまで以上に情報が集約・調整できる体制を検討していく。 スクリーニングの検討手法について再度検討していく（さらなる取組時間の確保、担当制の導入等）。
相談支援事業所連絡会	<p>2回開催 7月8日 10月14日</p>	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回(7/8)：高次脳機能障害の方への支援について(6/全11事業所)在宅支援室より高次脳機能障害についての基礎知識の説明・質疑応答 第2回(10/14)：事例をもとに相談支援に関する意見交換・情報共有(5/全11事業所) <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内事業所に限定し顔の見える関係性があることから自然に支えあう場になっている こじんまりとして話しやすさにつながった 第2回の意見交換で児童期の支援について知らない事業所が多く、ライフステージの変化や分野をまたぐ時のつなぎには課題があることが分かった 移行期の背景には多くの問題があり、そこをテーマにすることで表面化するのではないか 参加人数が毎回あまり多くない。要因としてご案内の時期が考えられる(1か月前ではすでに予定が入っている) 幸区との合同開催は適当なテーマが見つからず実施しなかった。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間のテーマを設定して実施することで次回の会の具体的な案内になる 参加者が内容をイメージできると求めるものが見えやすい それぞれの事業所の得意分野を強みとして各機関で共有できると良い 関係機関が顔の見える関係になり相談しあえるようになると地域を支える力にもつながる 第1回目の会で年間のスケジュールを提示することで年間の予定を確保する 幸区との合同開催については担当者間で検討する
地域で暮らす区民がお互いを知るワーキング	<p>9回開催 6月10日 7月8日 7月29日 8月12日 9月9日 10月14日 11月21日</p>	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年8月～12月は本格的な活動の準備期間とする(ワーキング委員へ参加依頼、スケジュール調整、予算決め、印刷業者選定、進捗状況の確認等)。 地域で暮らす区民がお互いを知る機会を企画する(川崎区社協福祉まつり参加に向け、説明会に出席)。 身体障害・知的障害・精神障害者を対象とする各事業所から委員を選出し、取り組みについて検討、実施する。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年11月開催の川崎区社協 福祉まつりでの普及啓発活動を検討したが、準備期間が短く、過去のワーキングで同様の活動をした事例があった。福祉まつり来場者に限らず、さらに裾野を広げてもっと多くの方に知ってもらいたいということから参加を見送った。

12月9日
12月11日

- ・印刷業者選定は、当初の見込みが甘く、ポスターの詳細を決めてた後ではないと実施できないことが分かった。
- ・進捗確認は参集やメール等で実施しており、継続が望ましい。

【改善】

- ・スケジュールを伝えた上で委員との調整が必要。
- ・予算を共有し、発行部数等決める。
- ・ポスターの詳細を決めて、印刷業者選定を行う。

【その他、次年度に向けて】

- ・R7年3件の地域問題が提出され、内2件については、企画運営会議で既に協議検討を行っているが、引き続きR8年に協議・検討を進めていく予定。残りの1件についてはR8年から協議検討を進めていく予定。